

四国剣山報告

期 日：5月29日～6月1日

参加者：M・T Y・U F・I

コース：新宿高速バスターミナル22：00発→徳島6：50（35分遅延）～7：21→貞光9：17→タクシー見の越10：30→西嶋駅10：58～11：05→剣山山頂11：46～11：55～次郎笈13：11～13：20→丸石16：14→丸石避難小屋16：43

2日目：丸石避難小屋5：10→高ノ瀬5：45→白髪避難小屋8：33→カヤハゲ（東熊山）9：40～三嶺11：05～11：15→三嶺ヒュッテ11：28～11：40→杉林昼食13：00～13：30→山芍薬群生地始まる13：40→最初のモノレール軌道14：16→いやしの温泉郷15：00

3日目：いやしの温泉郷9：00タクシー→奥祖谷かずら橋→名頃案山子の里→タクシーいやしの温泉郷11：00～11：50→阿波池田14：10～14：24→岡山15：41～15：49→新横浜18：55

報 告：夜行バスが中央道集中工事の影響で徳島着が遅れ予定していた急行に乗れず登山開始が大幅に遅れた。2日目楽に行動するために1日目の行動時間が欲しかったが、計画書通り丸石避難小屋に泊まる事になった。ミヤコ笹の茂る登山道は今までと全く趣が違っていた。自分の歩く「道程」が目の前にはっきり表示されている様に見えるのである。



写真中央部剣山山頂迄目で追える。この景色が縦走中の半分以上は続く。
始まったばかりでまだ表情は明るく元気。



尾根を歩いて次郎笈に向かう。遠くのピークが次郎笈。笹の尾根は続く、どこまでも……。今日はあの次郎笈を越えて丸石避難小屋迄行きます。





次郎笈にて記念写真。地元の方達と写真を撮り合い雑談後浮かれ気分で別れる。集合写真の右手後ろがこれから行く尾根筋。快適に下る。実は下っている写真の左手の尾根が進みたい尾根。まだ誰も

気が付いていない。振り向いて写真を撮っている本人も気が付いていない。



ツルギミツバツツジの登山道が続き浮かれる。綺麗・綺麗の連発。

浮かれていた目に林道が見える。あれ？なんで？この日初めて地図を確認する。あーあー、やってしまった。なんと右の尾根に乗る所を何も考えずに目の前に有った左の尾根を下りてしまった。下山地点に山の家は有るし、林道を暫く歩けば30分で元の尾根の先に乗る登山道が有る



る事を確認し相談の結果そのまま奥槍戸山の家まで下山することにした。奥槍戸山の家14:29分着。剣山トンネルを抜けてスーパー林道を1.5キロ程歩く。下り坂で助かった。右手に乗りたい尾根を確認しながらあの鞍部に戻りたいと希望を話しながら進む。30分程林道歩きをし、鞍部も近くなったので山の斜面に有る筈の登山道を捜しながら進む。最初に踏み後らしき道を感じたが、エアリアマップに赤線で記入が有るのもっとしっかりした道だろうと数歩進むと鉄の錆びた階段が目につ



いた。あれぞ登山道とカーブを曲がると立派な標識。ホットした笑顔。ここから30分で尾根に上がれる。



ゆっくり歩くことを確認し合い登りにかかる。



しいツルギミツバツツジの中を歩けたので良しとしてください。反省ばかりで少しも成長せず、天然ボケ+老人ボケも加わり失敗ばかりで毎日が大変です。

尾根に上がり丸石に到着。丸石避難小屋はこの下の鞍部に有る筈。後20分と頑張る。お疲れ様でした。本日のお宿に到着です。気の緩みで1時間30分ほど余分に歩いてしまいましたが、素晴ら



本日の夕食メニューは、

- ① ベーコンとキャベツのオイスターソース炒め
- ② アルファーマイわかめご飯1袋（3人で）
- ③ 味噌煮込みうどん2袋（3人で）
- ④ 食後二人はコーヒー、一人は梅酒でした。因みに昼食はバターローラー人2個、チーズ、ハム、トマト、コーンスープでした。



避難小屋は3人だけの貸切。 今日一日お疲れ様でした。明日に備えておやすみなさい。

2日目：5月31日（土曜日）



朝食メニューは

- ① レタスとトマト、ハム、チーズ添えマヨネーズサラダ
- ② コーヒー
- ③ バターロール

でした。小屋を掃除後5：10分出発。

今日は長堤場！焦らず必要以上に休まず歩くつもりです。



昨日のミヤコ笹の尾根とは違いブナ、ダケカンバ、シロヤシオ、ツルギミツバツツジ等樹林の中の道です。

鹿による食害が進み立ち枯れが多く林は怪しげな雰囲気醸し出していた。



時々シロヤシオの混じるツツジの山肌を歩きます。ツツジの稜線の向こうの薄い影が今日の最高峰三嶺です。遠い。行けるのか！

失敗依頼コンパス、地図を必要以上に確認。

同じ間違いをしたくないので今日は指さし確認で進みます。

ツツジの道は続きますが、三嶺は遠い。





手前の山がカヤハゲ（東熊山）その右が目指す三嶺。山肌はピンクの模様を散りばめ新緑とのコントラストが美しい。



カヤハゲ山頂から見た三嶺。どこまで下降するのか降りたら登り返しが辛い。あまり下りたくないと思音を吐きながら進む。遠くから眺めて真ん中の樹林帯の濃い所を登るのだと想像する。



いよいよ三嶺に取り付きます。尾根途中の大岩辺りを通るのか？

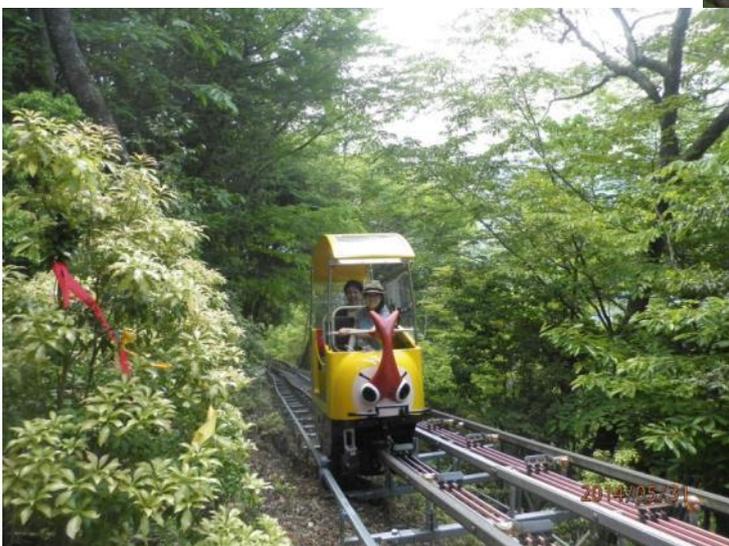


苦しみの前の最後の癒しツツジとハタザオ



途中遠くから確認した大岩を通過し鎖・鎖・の連続。写真を撮る余裕なし。よいしょ、よいしょの掛け声でやっと登りました。これで今日の大仕事終わり、後はビール、アイス、コーヒーとそれぞれのご褒美に思いを馳せます。だが、最後の気の緩みで怪我すること無く下山することが大事。気持ちを引き締めて！

いやしの温泉近くに山芍薬の群生地有り。花も多く確認され物凄く得した気分となる。



モノレール軌道を4回通過するといやしの温泉もすぐそこ。チェックインは15:00なので時間潰しと名残を惜しんでお湯をわかし、ゆっくりコーヒブレイク。

モノレールが通過するたびに写真いいですか？と叫び時を過ごした。不思議な3人の山旅は無事終了した。老婆2人に付き添ってくださったうさんに感謝です。ありがとうございました。

6月1日（日曜日）おまけ遊び



奥祖谷（おくいや）のかすら橋に遊びに行きました。3本ある橋の一つ「野猿」です。最後は腕の力が無くなります。

↓女橋



←男橋



名頃の案山子村。作家綾乃月見さんの作品です。花嫁さんのお顔がご本人に似ているように思いました。花嫁さんを連れて帰りたいと騒ぐおじさんがいましたが、綾乃さんに花婿さんがいるからダメとたしなめられて写真で我慢です。

